

カントボーイにされた勇者が 魔物の苗床になる話

by PinkShark



二百年前
のこと

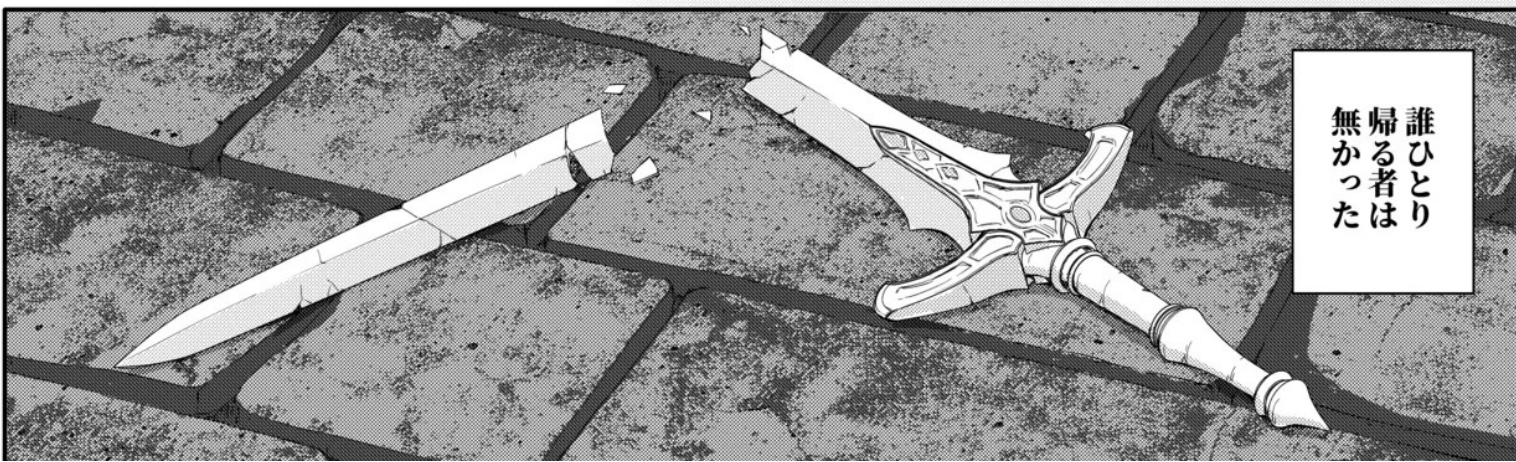
征服王アズゴルは
邪神の血を飲み
魔王となった

以来、彼の城から
は雲霞の如く
魔物が溢れ

民を喰らい
国々を飲み
込んでいった

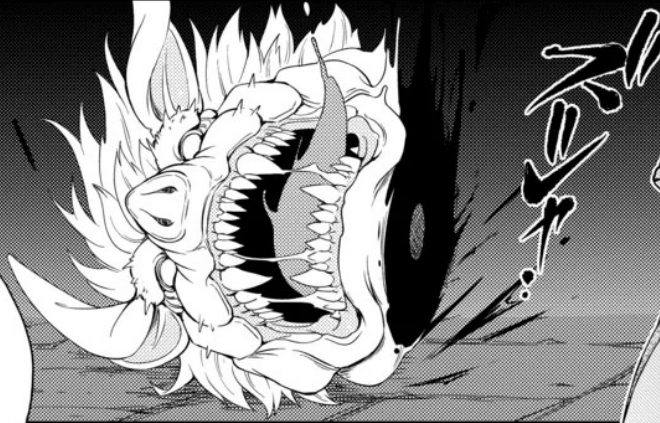
幾人もの勇者が
魔王に挑んだが

誰ひとり
帰る者は
無かった



そして
今…

歴代最強と
謳われた勇者
がここに



斬っても
斬っても



湧いて
くる…



いったい
どれだけの
魔物が
この城に…



体力も魔力も……
もはや限界

ゴオオオ!

ゴオオオ!

だが……
倒れては……

先に逝った
仲間たちに……

会わせる
顔が無い!

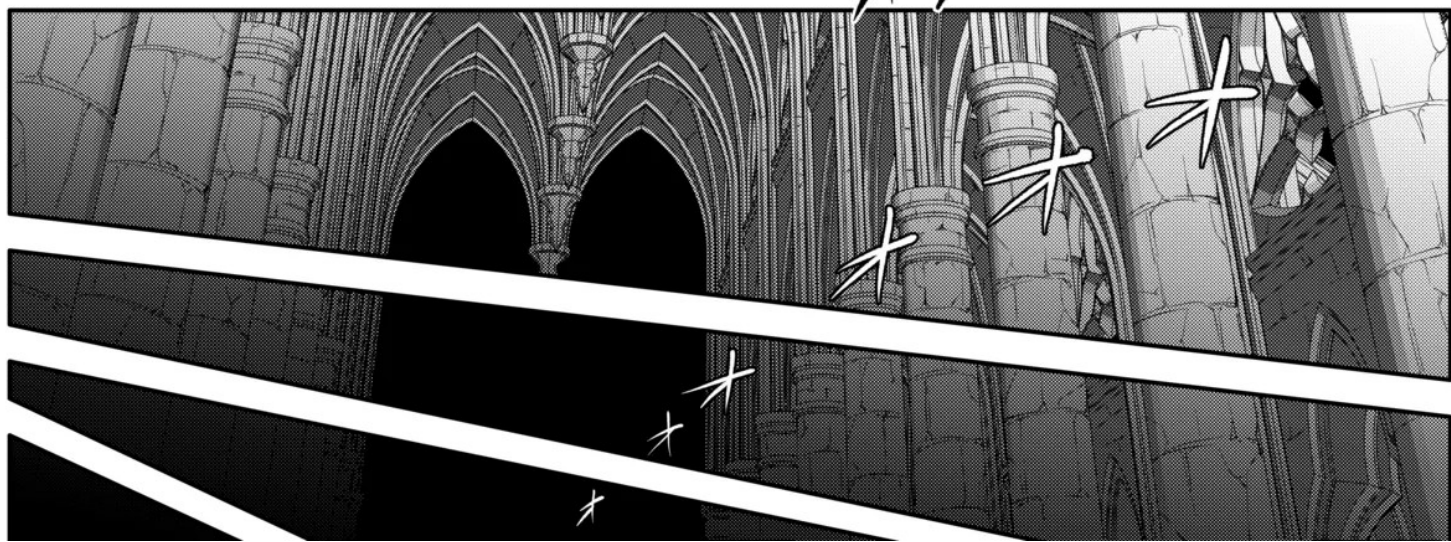
ゴオオオ!



たとえ全身が
砕けようとも

来いっ!!

魔王アズゴルに
我が一太刀を



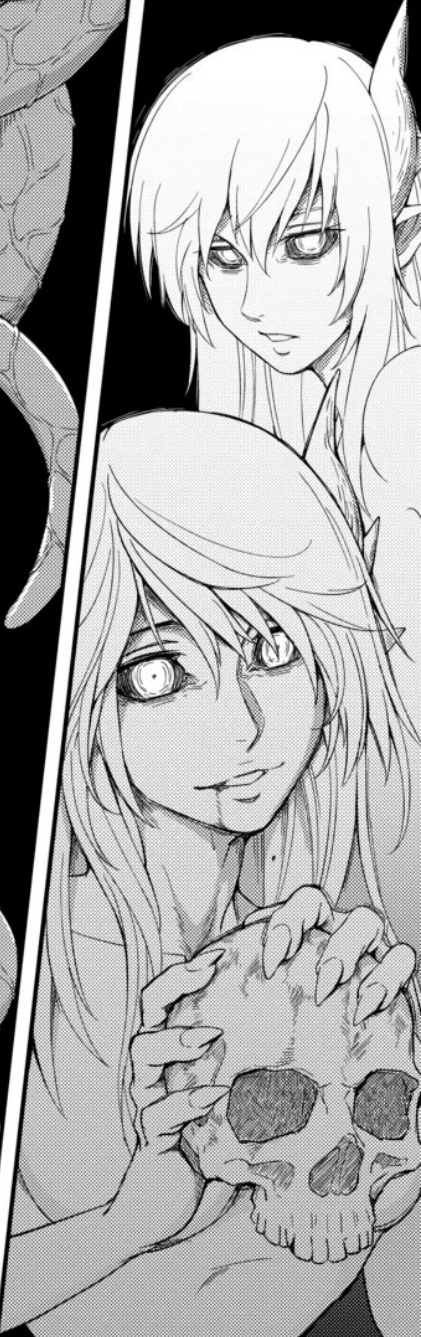


さすが生ける
伝説とまで
言われた男

千の近衛を
相手に：

ここまで
俺に肉薄
するとは

勇者
レオン・
シュトラウス





このアズゴル
が唯一...

宿敵と
認めた男よ



殺す？

殺すなど
とんでも
ないこと



剣技...
魔法...
胆力...

どれをとっても
この二百年で
最高であった

くだらん戯言を
言う為
に生捕り
にしたのか？

さっさと
殺すがいい



苗床だ



これから
長い付き合い
になる



決着は
ついたが

三千。



俺と
お前は



鍛え上げ
られた

見事な
肉体よ

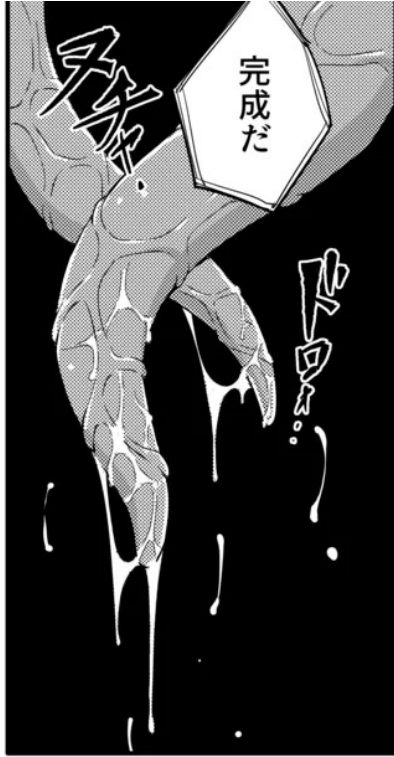
このまま
しゃぶりつき

犯して
やりたい

だがまだ
足りぬ

クッ
ッ





完成だ

又々

ドロドロ



この俺に
相應しい姿に
生まれ変わる

お前はより
完璧で:

より
美しい



なんと
素晴らしい

ああ:

ヒッ

ヒッ

ヒッ



俺はお前を
ずっと
見ていた



ようやく
手に入る

伝説の勇者の
正当なる血統



故郷を失い
俺を倒す
旅に出た

儚き少年
の頃から



必ず来ると
信じていた





男の機能
も残して
やったぞ

あ

あ…

お前は男と女
両方の快楽を
味わえるのだ



さあ
楽しもう



ガ
ア



まずは
女の方
からだ



では味を
見てみようか



女の
快楽は

男には
強すぎる
刺激らしい



触れる
なあ！

ふっ

なっ



歴戦の勇者も
皆よい声で
なっていた

さあ…お前の
艶やかな声を
聞かせてくれ

お前：
仲間だった
賢者と
まぐわった
だろう？

又去

貴様：
よくも

覗かせて
もらったが実に
愛らしかった

又去

どうだ：
同じ快感は
味わえたか？

よくも
このような
恥ずかめを…

フフ…

かような
恨み言も

やがて
歓喜の喘ぎに
変わるだろう





見もの
だな

メス穴二つ
貫かれた
お前が…

いつまで
強がれる
のか

ああ
そうだ

みんな
犯して
孕ませ

魔物を産む
苗床に
してやった

歴代…の
勇者にも

同じ…
事…を



呪われし
憐れな王よ

人の心は
欠片も残って
いないのだな

このような
悪行…永劫
には続かんぞ



今まで
お前が

殺してきた
魔物は全て



彼らが
産んだもの



私を超える
ものが…

真の…
勇者が

必ず…
現れ…る

貴様を
打ち倒す
者が…



お前を
超える者
…だと？



俺は人間の
限界をよく
知っている

あり得ぬ

レオン・
シュトラウス
を超える者
だと？

お前こそ
最高の勇者

私の愛しい
宿敵



その
お前ですら
この様だ

有象無象
に何が
出来よう

人の
底力!



勇者っ：
だけではっ
ない!

いずれ諸国
の英傑が：
立ち上がり

舐める
なよ!!



必ずやっ

化け物!!

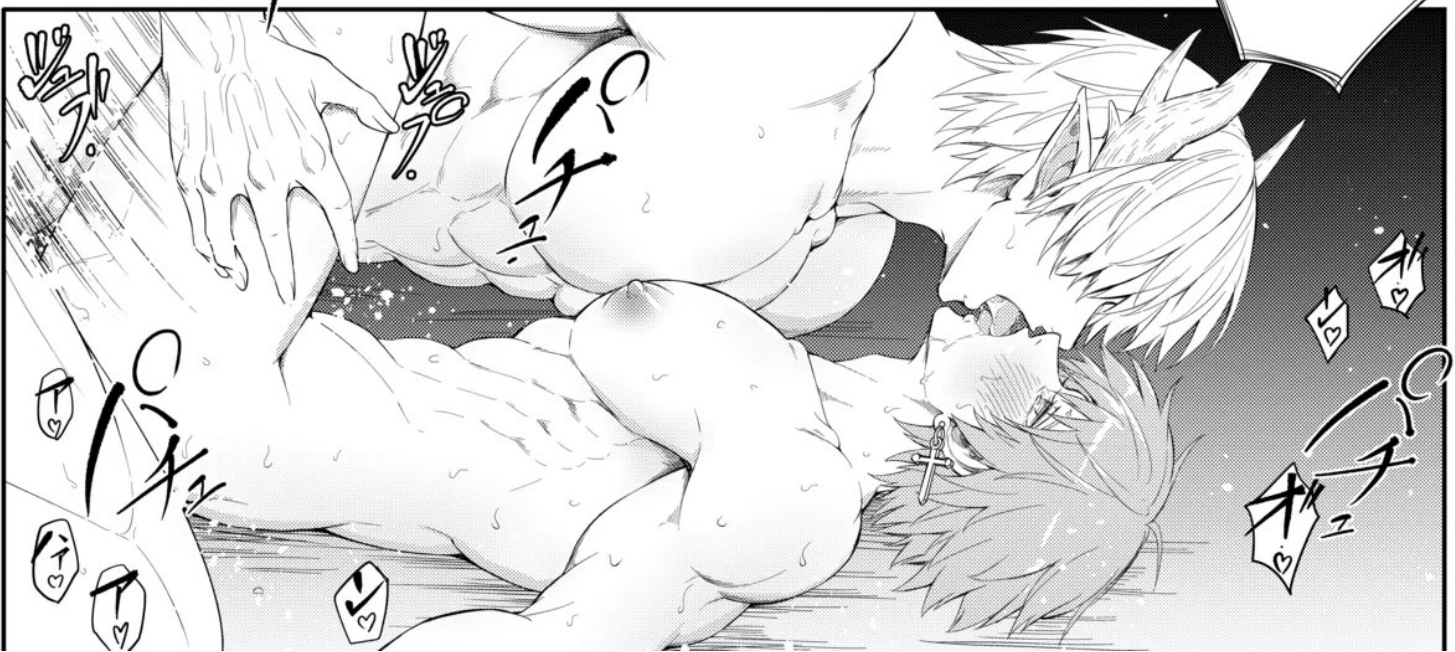
魔王軍をっ
打ち倒す!!



ハハッ

いいぞ!
もっと
吠えろ!!

これぞ
征服の
醍醐味!!





あああ
いいぞ!

あああ
出る!

今宵は全て
出し切る!

出るう!

止まらん!



さあ動け

思うまま

出来る
だろう?



お前
を:



俺で
満たす



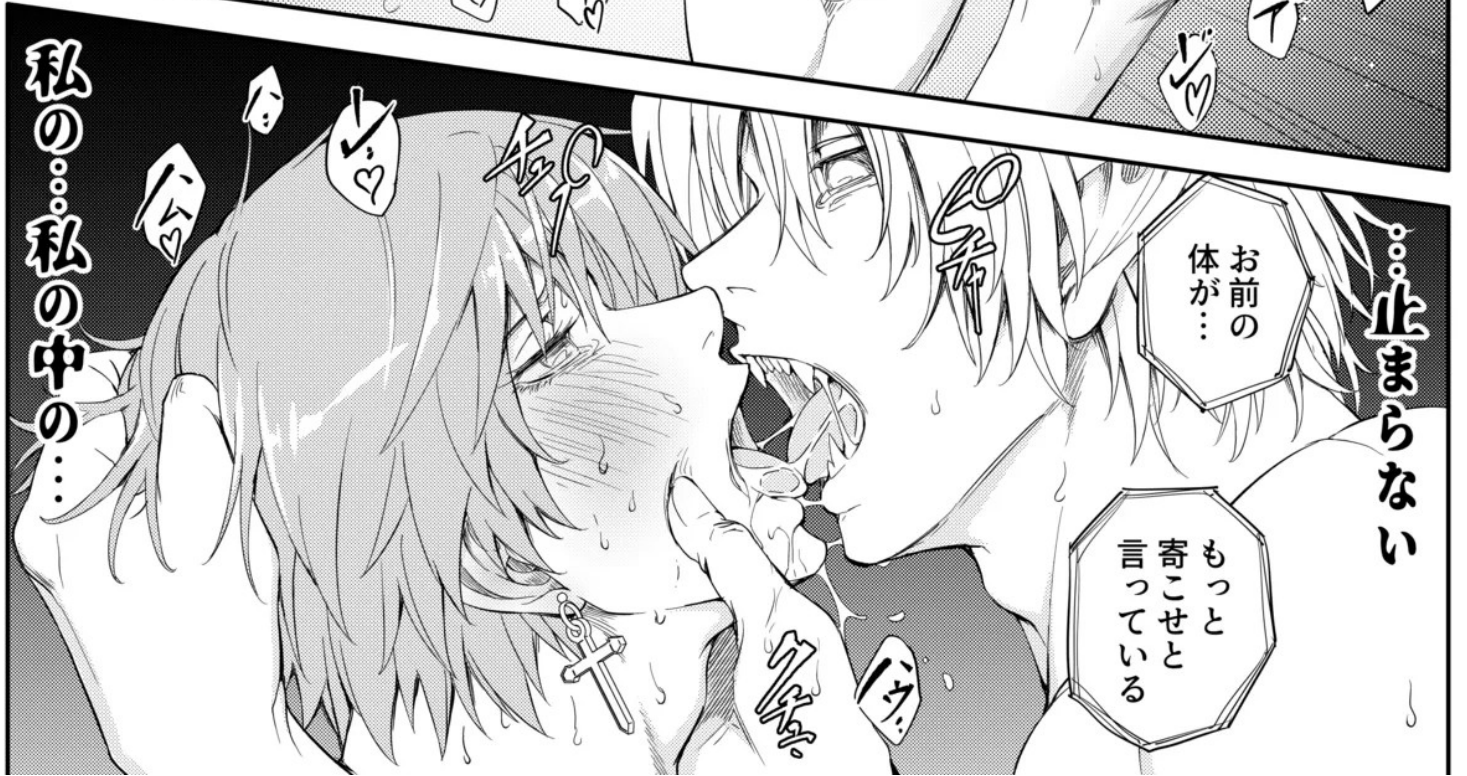
何だ
...これは...は

腰が...
勝手に...動いて

こいぞ

その
調子だ

体に
ゆだねろ



止まらない

お前の
体が...

もっと
奇こせと
言っている

私の...私の中の...



やめ...ろ
嫌だ
...イヤ
ハッ

バチエ

やめ...ろ
...てえ
孕...む

孕...む...
のは
ヤダア

バチエ

バチエ

バチエ

たの...む
オ

頼...む
...から

バチエ



...先に逝った仲間たちに
どんな顔で会えば...

バチエ

バチエ

バチエ

バチエ

バチエ



勇者としての
心がまだ
抗っているな

肉体は
もう堕ちて
いるが…

いいぞ…
もっと抗え



お願い
だと？

尻を
突き出し

我が双頭を
啜えこんで
離さない奴の
言うことか？

淫乱め

ちが
うが

違うウ



俺はお前の
故郷の…
仲間の…

当然よな

そして
人類の仇



褒美に

。。。。弄ばれている

さらに激しく
突いてやる
から...

モテ

モテ

悔しい...悔しい
...なのに



ああ...

もっと
聞かせて
くれ



生涯を掛けて
倒そうとした
男に...

犯され
続ける
気持ちを

ヌキ



興奮するんだ？

どろりして痺れるほど...

チク
シヨウ



チク
シヨウ

何だ？
それだけ
か？



さっきの
威勢は
どうした？



チク
シヨウ



こわ...
れる...

...もう

やめ...

お願い
し...ます



ここが好き
なのだな？

バチ



おかし...
く...なる

もう...
動弁して
くだ...さい

おかし...
じく



ああ…また
イキそうだ

さあ…
出すぞ

オオ

オオ

オオ

オオ

クッ

イクぞお

クッ

メス穴…
ニラとも

壊れちゃう

これ
…る

ラ…
メエ



あああ…
止まらぬ

全部だ

一滴残らず
流し込むぞ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

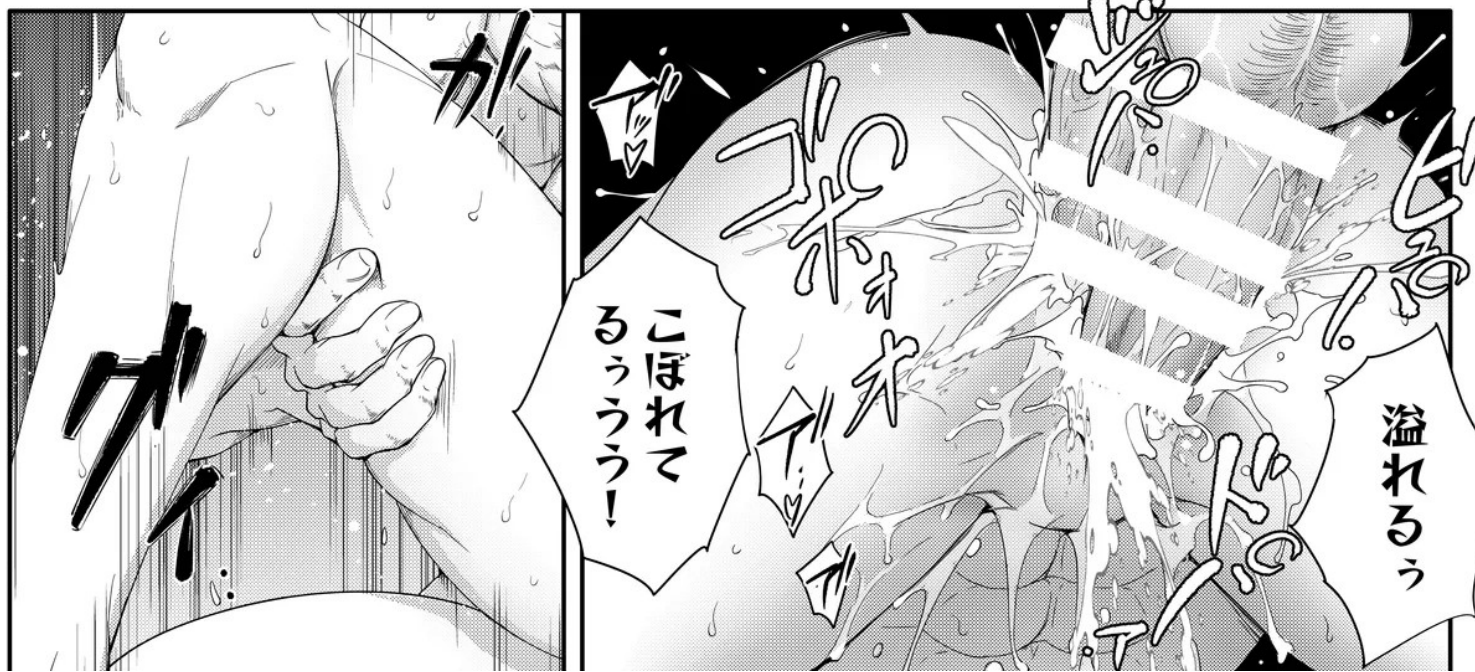
クッ



止めつろお

もう…
無理い

もうっ…
入らないい



こぼれて
るううう！

溢れるう



ああ：
お前は最高
のメスだ

これほどの
種付けは
二百年ぶり

最初の軍勢
を作った時
以来よ



お前が
産む子は

それを成す
真の魔王と
なるだろう！



我が血族で
世界を統べる

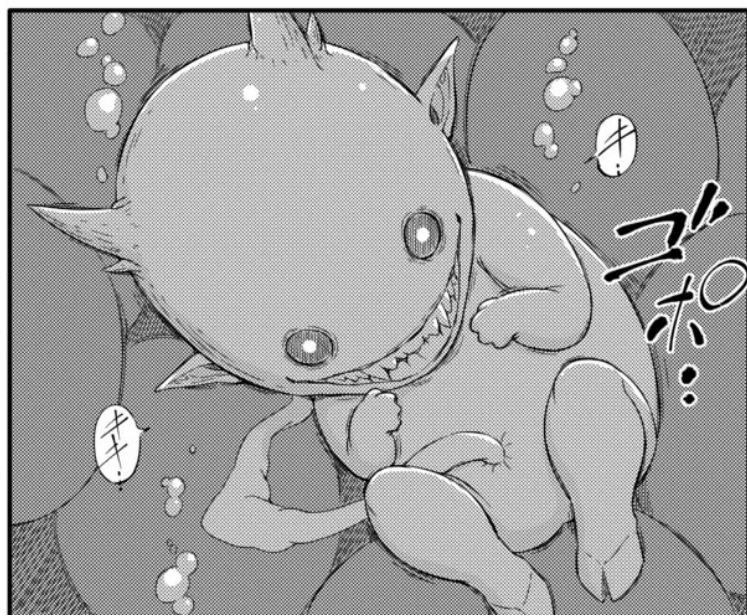
愚かな人間を
駆逐し！



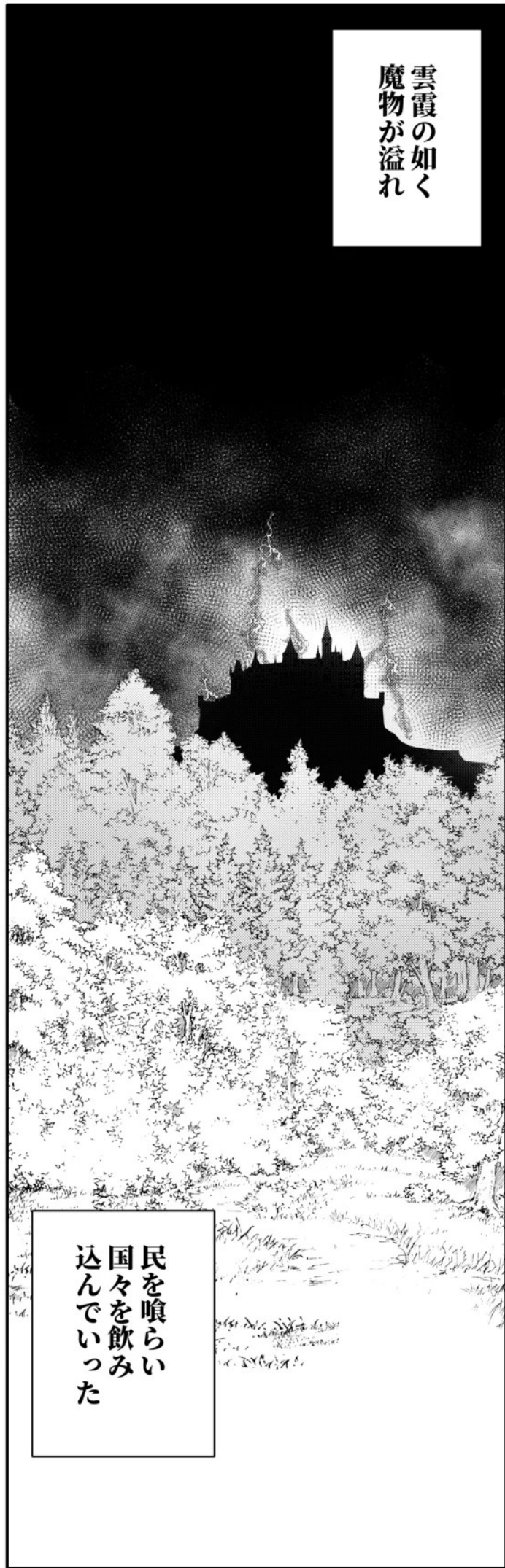


魔王の
城からは

雲霞の如く
魔物が溢れ



民を喰らい
国々を飲み
込んでいった



幾人もの
勇者が



魔王を
滅せんと
挑んだが

誰ひとり
帰る者は
なかった

私と...

魔王様
の...

愛しき
子ら...



レオンが
産みし子ら
によって

二十年に及ぶ
聖王国との
戦も：

詰めに
入った

魔王軍の
進撃はより
苛烈さを増す

次の会戦で
勝敗は決する
だろう

前衛を
任す

精鋭を率いて
先鋒を切れ

やがてその中から…

殲滅せよ

烈火の
ごとく

お前たち
二人なら
容易い

二人の次期魔王候補が現れる



しかし

二人の王子は

完全なる勝利を
捧げましょう

まるで違う未来を
歩むことになる

父と母の
名誉に掛けて

そのお話は
次の機会に……

END